

データマネジメント成熟度モデル

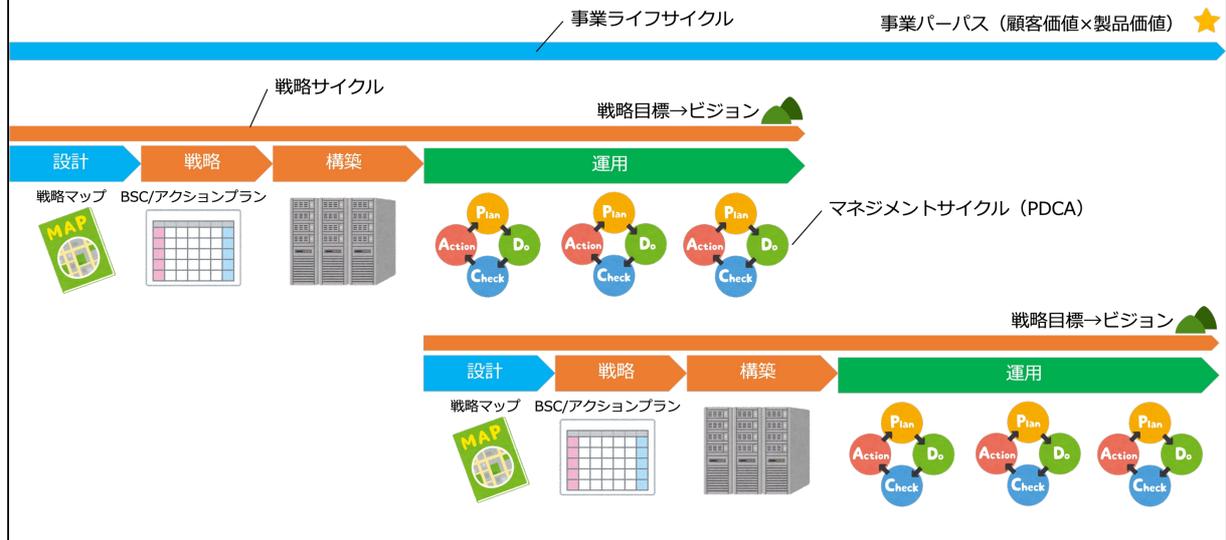
分野	レベル1 場当たり的な状態	レベル2 反復できる状態	レベル3 定義された状態	レベル4 管理された状態	レベル5 最適化された状態
データアーキテチャ	全社レベルでデータの基本構造が設計されていない。	全社レベルでデータの基本構造が設計されていない。	全社レベルでデータの基本構造が設計されている。	全社レベルでデータの基本構造が設計されており、システム開発やデータマネジメント、データ戦略に活用されている。	データアーキテックチャが継続的に改善されている。
メタデータ管理	メタデータの認識がない。	メタデータは定義されていない。	メタデータが定義されデータカタログとして整備されている。	メタデータがデータカタログとして整備され活用されている。	データカタログとして整備されたメタデータが継続的に改善されている。
データ管理基盤	データはアプリケーションシステムのDBで個別に管理されている。	データはアプリケーションシステムのDBで個別に管理されている。	データ管理基盤が設計されている。	データ管理基盤が構築され、それが適切に管理されている。	データ管理基盤が継続的に改善されている。
データ統合	データはアプリケーションシステムのDBで個別に管理されている。	データはアプリケーションシステムのDBで個別に管理されている。	データの保管と移動が一元管理できる状態になっている。	全社のデータの保管と移動が一元管理され、データの変遷を追跡できている。	統合されたデータと、その変遷が継続的に改善されている。
データセキュリティ	必要に応じてデータセキュリティが管理されている。	データセキュリティは管理されているが、特定の人に依存している。	データセキュリティに関するポリシー、評価基準、役割や組織、管理プロセスが定義されている。	データセキュリティに関するポリシー、評価基準、役割や組織、管理プロセスが定義され、マネジメントサイクル（PDCA）が実行されている。	データセキュリティに関するポリシー、評価基準、役割や組織、管理プロセスが継続的に改善されている。
データ品質	データ品質に対する認識がない。	データ品質に対する認識はある。	データ品質に関するポリシー、評価基準、役割や組織、管理プロセスが定義されている。	データ品質に関するポリシー、評価基準、役割や組織、管理プロセスが定義され、マネジメントサイクル（PCDA）が実行されている。	データ品質に関するポリシー、評価基準、役割や組織、管理プロセスが継続的に改善されている。
データマネジメント組織	データマネジメントに対する認識がない。	データマネジメントに対する認識はある。	データマネジメントを実施する役割（データ管理者など）や組織が存在している。	データマネジメント組織が確立され、データマネジメントが適切に実施されている。	データマネジメントを実施する職務と監督する職務が分掌され、データマネジメントの妥当性が保証されている（ガバナンスの確立）。

データマネジメント知識体系 第二版（DMBOK2）

データ利活用の成熟度

視点	レベル1 場当たり的な状態	レベル2 反復できる状態	レベル3 定義された状態	レベル4 管理された状態	レベル5 最適化された状態
利活用の状態	各社員が、必要に応じて、独自にデータ分析を行っている。	ユーザー部門単位にデータ分析を行っている。	社員がデータ活用に関する教育を受け、データを利活用して業務上の課題を解決できる状態になっている。	社員一人一人がデータを活用して自律的に業務課題を解決することができる。データを利活用して、経営判断やビジネス戦略を決定している。	これまで人が行っていた業務をAIに置き換えるなど、データ利活用を業務プロセスに組み込むことで業務を変革することができる。データ×デジタル技術によって、新しい事業を創出することができる。
データ分析環境	システムのデータを社員が取得し、Excelなどのクライアントアプリケーションを使ってデータ分析をしている。	ユーザー部門に分析用のデータが準備されており、それをメンバーが活用できる。	全社レベルでデータ分析環境が構築されており、ユーザー部門から利用されている。	サービスデスクやインシデント管理など、データ分析環境が適切に管理されている。	データ分析環境が継続的に改善されている。
経済効果	—	—	—	生産性の向上	革新的な生産性の向上 収益の増大
評価指標	—	—	—	データを活用した業務改善実施数/年 生産性評価指標 ...	生産性評価指標 収益評価指標 ...

事業ライフサイクル

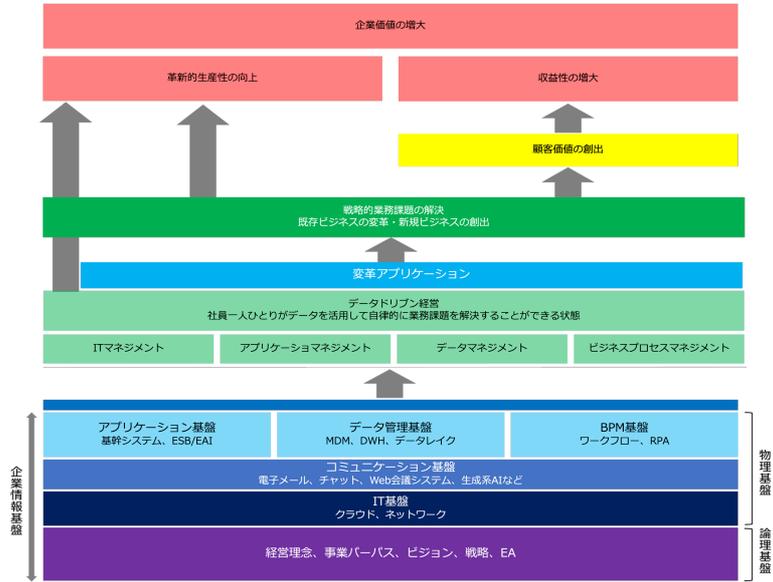


データマネジメント導入プロセス



▲
データドリブン経営の実現

DX戦略マップ



データマネジメント導入プロセス



データマネジメントの目的、体制、方法など本質となる型を設計します。その際、あるべき (To-Be) データアーキテクチャ、データ管理基盤、データマネジメント組織、データマネジメントプロセスを概念レベルで設計します。

データドリブン経営の実現 ▲

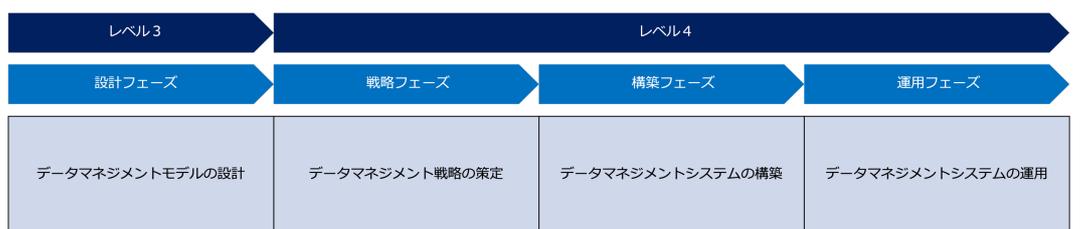
データマネジメント導入プロセス



データマネジメントモデルを具体的にどう実現するのか戦略を策定します。
その際、データマネジメントのビジョン、および、あるべき (To-Be) データアーキテクチャ、データ管理基盤、データマネジメント組織を論理レベルで設計します。
その上で、現行 (As-Is) のデータアーキテクチャ、データ管理基盤、データマネジメント組織とのギャップを明確にします。
その結果を踏まえて、データマネジメントシステムの構築計画と運用計画を策定します。

▲
データドリブン 経営の実現

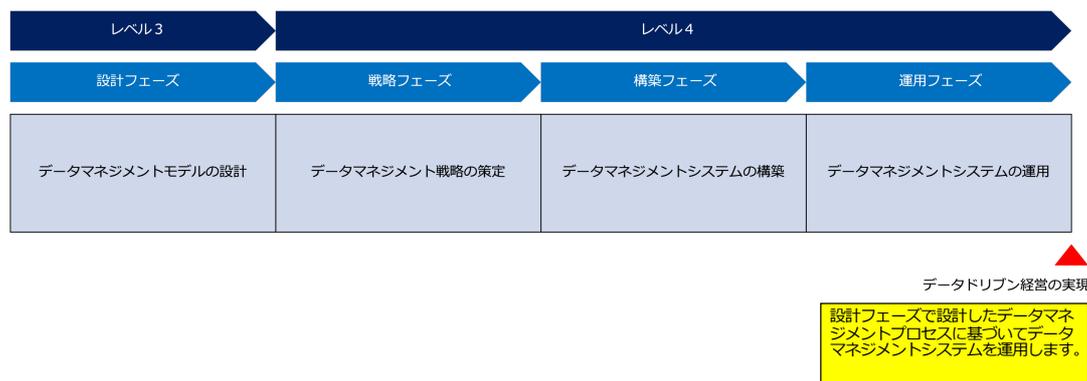
データマネジメント導入プロセス



戦略フェーズで策定したデータマネジメントシステムの構築計画に従ってデータマネジメントシステム（データ管理基盤およびデータマネジメント組織）を構築します。

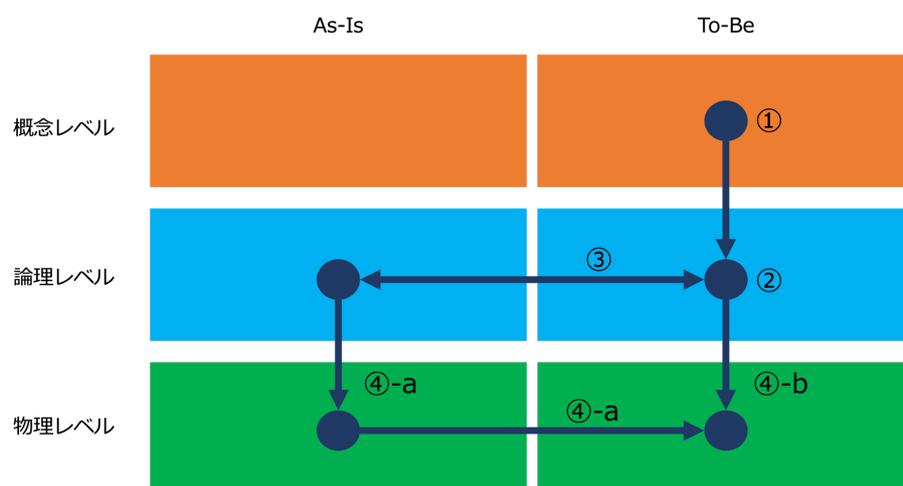
データドリブン経営の実現 ▲

データマネジメント導入プロセス



先ほど説明したように、データマネジメント導入プロセスは、DMの設計プロセス、、、から構成されます。

データマネジメント導入アプローチ



DXプロセス

